

## 令和3年度介護支援専門員研修兼更新研修 専門Ⅱ プログラム

研修が長時間化するのを受け、島根県では一部の科目を eラーニングで行います。8月下旬の受講決定後、指定期間内に視聴してください。

### 1 研修日時

会場	eラーニング	集合研修（Ⅰ期）	集合研修（Ⅱ期）
松江	令和3年8月下旬 （受講決定通知到着後）～ 令和3年9月27日(月)11:59	9月29日(水)～30日(木)	10月24日(日)～25日(月)
浜田	令和3年8月下旬 （受講決定通知到着後）～ 令和3年9月27日(月)11:59	10月3日(日)～4日(月)	10月18日(月)～19日(火)
出雲	令和3年9月28日(火)～ 令和3年10月28日(月)11:59	11月1日(月)～2日(火)	11月24日(水)～25日(木)

### 2 研修内容

#### 〔eラーニング〕

eラーニングとは、自宅や職場のパソコン（推奨）・スマートフォン等インターネットを介してwebサイト上の学習システムにログインし、動画を視聴して学習する方法です。そのため、eラーニングに必要となるインターネット環境やパソコン等を受講者自身で用意の上、申し込みを行っていただくことになります。

各自が所有するパソコン・スマートフォン等の操作方法や設定に関する質問についてはお受けできません。必ず購入先等にお問い合わせください。

- ・eラーニングを終了していない場合、集合研修は受講できません。
- ・受講決定通知にあわせて個別にID・パスワードを送付します。そのID・パスワードを使いeラーニングを視聴します。2人以上で視聴されても、パスワードを入力した人のみの視聴となり他の方は未視聴（未受講）になるので、お気を付けください。
- ・ID・パスワードが届きましたら、約1週間の間に動作確認（実際にID・パスワードを入力し、eラーニングが視聴できる状態の確認）を行ってください。
- ・eラーニングの受講期間の延長はいかなる理由があっても認められませんので、必ず期間内に受講を終えるように計画的に取り組んでください。
- ・進捗状況を事務局がチェックし、状況によっては事務局から電話にて受講を促す事があります。
- ・各講義の後に確認テストがあります。全問正解しなければ終了したことになりません。
- ・受講期間中は、eラーニング動画を繰り返し何度でも視聴できます。

#### 〔集合研修〕

集合研修とは、指定された日時・会場に受講者が集まって受講する方式です。

eラーニング後に受講します。

## 集合研修会場

松江会場：くにびきメッセ I期：多目的ホール II期：国際会議場（松江市学園南 1-2-1）

浜田会場：いわみーる 4階 401 研修室（浜田市野原町 1826-1）

出雲会場：朱鷺会館 大ホール（出雲市西新町 2丁目 2456-4）

※それぞれの1日の講義・演習後には振り返りの時間を別途 30分設けます。

### 【1】 eラーニング（23時間程度）

- ① 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開（230分程度）
- ②-1 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」（70分程度）
- ②-2 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」（170分程度）
- ②-3 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「認知症に関する事例」（160分程度）
- ②-4 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「入退院時等における医療との連携に関する事例」（200分程度）
- ②-5 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「家族への支援の視点が必要な事例」（190分程度）
- ②-6 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」（180分程度）
- ②-7 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例」（170分程度）

注1) ①・②-1等の番号はテキストの章の番号です。

視聴の順序は問いませんので、どの講義からでも始めることができます。

※（ ）内は撮影時間を表示しています。グループワークや発表の時間も含まれ、受講生の声をマイクが拾っていないので聞き取りにくいです。

早送りまたはスキップしてもかまいません。

※各講義で使用したパワーポイントを添付しています。（②-4 ②-5 ②-7はありません）必要な方は、ご自身で印刷して使用してください。

eラーニングのデータを研修以外の目的で使用することを禁じます(SNSに掲載すること等を含む)

**【2】 集合研修**（22 時間程度） **【1】** の e ラーニングをすべて視聴していないと受講できません。

- ① 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開（60 分程度）
- ②-1 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」（180 分程度）
- ②-2 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」（180 分程度）
- ②-3 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「認知症に関する事例」（180 分程度）
- ②-4 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「入退院時における医療との連携に関する事例」（180 分程度）
- ②-5 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「家族への支援の視点が必要な事例」（180 分程度）
- ②-6 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表  
「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」（180 分程度）
- ②-7 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表「「状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例」  
（180 分程度）

### 3 研修記録シート（学習の振り返り）

- ・ eラーニング視聴後には、テキストと一緒に送付した「研修記録シート（学習の振り返り）」の記入をしてください。
- ・ 1ページの研修記録シート1（目標）1.受講前の受講者記入欄・管理者記入欄は必須です。
- ・ 2ページ以降は同じ科目に【eラーニング】のページと【集合研修】のページがありますのでご注意ください。
- ・ 各科目の見開きページ左側の研修記録シート2（評価）「受講前」「受講後」の数字は必須、「備考」は任意で記入してください。
- ・ 各科目の見開きページ右側の研修記録シート3（振り返り）「内容」は必ず記入してください。

#### ≪研修記録シート書き方例≫

##### 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを中心とし、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょ。

研修名: 専門研修Ⅱ【eラーニング】  
 科目名: ②-1ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」

視聴日 10月14日 時間 [ ] ~ [ ]  
 視聴場所 自宅

項目	視聴前	視聴後	実践評価 (1ヶ月後)	備考
記入日(入力日)	9月20日	10月14日		
① リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)福祉用具を組み入れた在宅サービス計画等の実践事例について意見交換を通して分析し、評価できる。	3	4		
② 分析し、評価した内容を受講者間で共有し、アセスメントや在宅サービス計画等の作成における留意点を判断できる。	3	4		
③ 各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等への応用を実施できる。	2	3		
④ 地域の各種統計データを必要に応じて活用することにより、他の事例へも応用できる。	2	3		
⑤ リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具等に関する関連知識や歯科医師・リハビリテーション専門職・福祉用具専門相談員等との連携方法への応用を実施できる。	2	3		
⑥ リハビリテーションや福祉用具等の地域の社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントを実施できる。	3	2		

※評価は自己評価とし、5段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入して下さい。  
 【選択肢】 5.優れて達成している 4.やや優れて達成している 3.概ね達成している 2.やや達成が不十分 1.全く達成できて

##### 研修記録シート3(振り返り)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを中心とし、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょ。

研修名: 専門研修Ⅱ【eラーニング】  
 科目名: ②-1ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」

視聴日 10月14日 時間 [ ] ~ [ ]  
 視聴場所 自宅

項目	内容
① あなたのケアマネジメント実践を高めるために得たことは何ですか	アセスメントを通して、ご本人の「やりたいこと」を生活の中から見つけ、その人がその人らしく生きるための支援をしていく。
② 得たことを実践でどのように活かそうですか	専門職と連携を密にすることで、その人らしい生活が更に満足したものになる。ケアマネの役割としてパイプ役になることは重要だと思う。
③ 本科目に関連して、あなたが更に学んでいく必要があると考えることは何ですか	自己の実践の振り返りや、口腔リハビリを含めたリハビリや福祉用具の活用に係る知識・技術が向上し、更に多職種連携が図れるようになる。
④ その他、この科目で感じたことは何ですか	地域の社会資源はほとんど活用出来ていない。今の時点ではケアマネジメントに反映出来るか不安があるので、⑤の評価を3から2にした。

#### 問い合わせ先

社会福祉法人島根県社会福祉協議会  
 福祉人材センター 担当：永島・加藤  
 〒690-0011 松江市東津田町 1741-3  
 いきいきプラザ島根 2階  
 TEL0852-32-5975 Fax0852-32-5956  
 ホームページ <https://www.shimane-fjc.com/>